

2026 年度（令和 8 年度）愛知学泉大学 入試問題出題方針

科目名：基礎学力テスト 現代文の読解

1. 出題方針

・方針

アドミッション・ポリシー（A-1）「高等学校卒業レベルの基礎学力」及び「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」を踏まえ、

- ①日本語の基礎的知識（漢字〈読み書き〉・語彙・文法）を問う。
- ②論理的文章（評論文・論説文・説明文・社説）などにおける内容理解とそれを説明（表現）する能力を問う。※文学的文章や作品は出題しない。
- ③慣用句・四字熟語・ことわざなどの言葉の意味を問う。

・出題範囲

高等学校までの学習内容を前提として以下のようにしたいと考えている。

- ・文章問題【一】【二】の大問題の 2 問を作成する。
- ・出題内容は、社会科学系・人文科学系・自然科学系から評論や社説、論説文や説明文などを中心とした出題範囲とした。

2. 出題形式（問題数、問題構成など）

問題【一】【二】の大問題を 2 題の出題予定。本文各 1500～2800 字程度を目安とする。

問題【一】【二】の配点は、各 50 点・50 点 計 100 点とした。

解答数は、

- ①常用漢字の読み書きを 8～10 問
- ②接続詞を中心とした投入合致を 1～2 問
- ③文章読解力をはかる記述の問い（文中の語句を使用して、自分の考えや意見を織り交ぜながら解答を考えるもの、解答を文中から抜き出して記述するもの）として 2～3 問
- ④文中における慣用句やことわざ（意味や内容を問う記述の問い、その語句を使用して短文を作る）の理解度を図る記述の問いを 1～2 問
- ⑤語彙の品詞を問うもの 1～2 問を中心とした問題数、問題構成とした。

3. 傾向と対策

- ・高校生までの国語の学習内容で履修する、語彙や読解力による解答ができる傾向。
- ・高校で学習し、よく出題される漢字または、過去の入試問題などに頻繁に出題される漢字を学習。
- ・新聞の内容やコラム欄などを読みこなせる文章力や読解力の必要性。